

1) メタボリックシンドロームの状況

- 平成20年の結果を平成19年と比較すると、男性ではメタボリックシンドロームが強く疑われる者が30.3%（平成19年）から27.0%（平成20年）に、メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者が25.9%（平成19年）から24.5%（平成20年）に減少しました。
- 一方、女性ではメタボリックシンドロームが強く疑われる者は11.0%（平成19年）から11.9%（平成20年）に増加しましたが、メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者は8.2%（平成19年）から8.1%（平成20年）とわずかに減少しました。

表1-1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（平成20年）

男性	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
メタボリックシンドロームが強く疑われる者 (腹囲≥85cm+項目2つ該当)	457	25.3	4	4.0	14	7.9	31	16.8	78	26.8	140	29.0	190	33.2	324	27.0
メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者 (腹囲≥85cm+項目1つ該当)	395	21.9	11	11.1	31	17.5	49	26.5	77	26.5	106	22.0	121	21.2	294	24.5
総数	1,806		99		177		185		291		482		572		1,199	
女性	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
メタボリックシンドロームが強く疑われる者 (腹囲≥85cm+項目2つ該当)	276	10.6	2	1.5	6	1.8	15	4.8	37	7.4	89	14.4	127	18.1	204	11.9
メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者 (腹囲≥85cm+項目1つ該当)	215	8.3	5	3.6	12	3.6	9	2.9	23	7.2	61	9.9	92	13.1	139	8.1
総数	2,600		137		329		315		499		617		703		1,715	

(参考) 表1-2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（平成19年）

男性	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
メタボリックシンドロームが強く疑われる者 (腹囲≥85cm+項目2つ該当)	434	26.9	3	3.4	17	8.5	35	16.7	66	25.0	149	36.4	164	36.9	327	30.3
メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者 (腹囲≥85cm+項目1つ該当)	364	22.5	5	5.7	48	24.0	52	24.8	68	25.8	103	25.2	88	19.8	280	25.9
総数	1,615		88		200		210		264		409		444		1,080	
女性	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
メタボリックシンドロームが強く疑われる者 (腹囲≥85cm+項目2つ該当)	232	9.9	0	0.0	2	0.5	12	3.5	30	6.7	85	16.3	103	18.7	169	11.0
メタボリックシンドロームの予備軍と考えられる者 (腹囲≥85cm+項目1つ該当)	172	7.3	0	0.0	6	1.6	16	4.7	33	7.4	54	10.4	63	11.4	125	8.2
総数	2,349		110		378		343		447		520		551		1,532	

“メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い”の判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者

腹囲が男性 85cm、女性 90cm 以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち2つ以上の項目に該当する者。※“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ／または「服薬」がある場合とする。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者

腹囲が男性 85cm、女性 90cm 以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者。

腹囲	腹囲（ウエスト周囲径）男性：85 c m以上女性：90 c m以上
----	-----------------------------------

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・ HDL コレステロール値 40mg/dl 未満	・ 収縮期血圧値 130mmHg 以上 ・ 拡張期血圧値 85mmHg 以上	・ ヘモグロビン A1c 値 5.5% 以上
服薬	・ コレステロールを下げる薬服用 ・ 中性脂肪を下げる薬服用	・ 血圧を下げる薬服用	・ 血糖を下げる薬服用・インスリン注射使用

（参考：厚生労働科学研究健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～」平成 17 年 8 月）※老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビン A1c 値 5.5% 以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いに関する判定項目である血糖を“ヘモグロビン A1c 値 5.5%”とした。

【引用文献】

厚生労働省. 平成20年国民健康・栄養調査結果の概要.

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/11/h1109-1.html>